

茅ヶ崎市・石巻市 未災地・被災地交流シンポジウム

過去から学ぶ未来

えぼし岩は見てきた。

えぼし岩は1200万年前の地層が隆起して今の形になるまで茅ヶ崎の、地震・津波を静かに体験してきました。しかし、私たちは1923年に発生した関東大震災さえ体験していません。過去の自然災害に向き合う事から地域防災ははじまります。過去の自然災害から地域防災を学んでいきましょう。

YouTube
LIVE配信
します。



【遠隔地連携をYEGのネットワークからスタート】

茅ヶ崎YEGの友好YEGである白河YEGが、2016年12月に白河駅前で「YEG冬屋台」を開催しました。こちらの事業に石巻YEGのメンバーが出店した事でご縁をいただき、メンバー間での交流が始まりました。

今回のシンポジウムも茅ヶ崎YEGのメンバーの個人的な被災者支援に始まり、被災地の石巻YEGのメンバーとの交流につながり、単の根拠に広がった結晶として茅ヶ崎市での開催となりました。今後は、この青年のつながりをより強固な連携にしていき、交互交流・交互支援の出来る連携に広がってほしいと考えております。この今回のシンポジウムが一つのきっかけとなり被災時の遠隔地地域連携が進んでいく事を願っています。

【YEGとは商工会議所青年部の英語名(Young Entrepreneurs Group)の略】

事前予約にて
入場 無料

開催
日時

2月25日(土)
開場13:00 開始13:30~

開催
場所

ルアンホール
(茅ヶ崎市新栄町10-25)
茅ヶ崎駅北口から徒歩3分



(Google Map)

① 基調講演

13:30-14:50

休憩
10分

② パネルディスカッション

15:00-16:20

休憩
10分

③ 3.11 体験談

16:30-17:50

講演 テーマ
「3.11で起きたこと・わたしたちが学んだこと」

東北大学災害科学国際研究所
佐藤 翔輔 准教授



プロフィール

京都大学大学院情報学研究所
博士後期課程修了。博士(情報学)
日本学術振興会特別研究員DC2
(京都大学防災研究所付)
東北大学大学院工学 研究科 附属災害制御研究センター助教
東北大学災害科学国際研究所助教を経て 2017年により現職
専門は、災害情報、災害伝承、防災・減災に関する啓発など
宮城県内の自治体をはじめ、災害メモリアルに関する委員
アドバイザー等をつとめる。

主な受賞歴

令和3年科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞、
地域安全学会 年間優秀論文賞(2018年、2019年)など受賞。

パネルディスカッション テーマ
「被災地の考える防災・未災地の防災の現状」

コーディネータ(進行役)

黒澤 健一 氏(がんばろう!石巻の会)

パネリスト

佐藤 光 氏(茅ヶ崎市長)

大内 正治郎 氏(石巻市総務部 危機管理監)

佐藤 翔輔 氏(東北大学災害科学国際研究所准教授)

大須 武則 氏(一社)石巻震災伝承の会(代表理事)

藤田 慧 氏(茅ヶ崎市消防団第16分団部長)

私たちの体験談 (石巻商工会議所青年部企画)
「東日本大震災で経験した私たちの教訓」

大森 盛太郎 (株)街づくりまんなほう 総務部長

石巻市にある石ノ森美術館の職員として館内で津波を経験。避難誘導・再建に尽力

武山 雄樹 (株)グローバルダイニング 代表取締役

震災後、飲食店再建に奔走しつつ、青年部活動に尽力。地域の為のココロの灯り事業開催

黒澤 健一 (株)黒沢配管工業 代表取締役

震災で住居店舗を流される。津波に負けたくない地域を動かしたい。「がんばろう!石巻」看板を制作

茅ヶ崎市・石巻市の青年によるフリートーク

未災地と被災地を結ぶ

当日会場参加者 **72**名(定員**62**名)

当日WEB参加 **10**名(同時視聴)

20日までの再生回数 **250**回(22日間)

20日までのリーチ **2,106**回

主催：がんばろう!石巻の会

共催：石巻商工会議所青年部・茅ヶ崎商工会議所青年部・(一社)石巻震災伝承の会

後援：宮城県・茅ヶ崎市・石巻市

令和4年度 みやぎ震災伝承連携推進事業補助金・石巻商工会議所青年部 令和4年度ココロの灯り委員会事業 の予算により開催します。

茅ヶ崎市・石巻市 未災地・被災地交流シンポジウム

過去から学ぶ未来

えぼし岩は見てきた。

えぼし岩は1200万年前の地層が隆起して今の形になるまで茅ヶ崎の、地震・津波を静かに体験してきました。しかし、私たちは1923年に発生した関東大震災さえ体験していません。過去の自然災害に向き合う事から地域防災ははじまります。過去の自然災害から地域防災を学んでいきましょう。

【遠隔地連携をYEGのネットワークからスタート】

茅ヶ崎YEGの友好YEGである白河YEGが、2016年12月に白河駅前「YEG冬屋台」を開催しました。こちらの事業に石巻YEGのメンバーが出店した事でご縁をいただき、メンバー間での交流が始まりました。

今回のシンポジウムも茅ヶ崎YEGのメンバーの個人的な被災者支援に始まり、被災地の石巻YEGのメンバーとの交流につながり、単の根拠に広がった結晶として茅ヶ崎市での開催となりました。今後は、この青年のつながりをより強固な連携にしていき、交互交流・交互支援の出来る連携に広がってほしいと考えております。この今回のシンポジウムが一つのきっかけとなり被災時の遠隔地地域連携が進んでいく事を願っています。

【YEGとは商工会議所青年部の英語名(Young Entrepreneurs Group)の略】

YouTube
LIVE配信
します。



事前予約にて
入場 無料

開催
日時

2月25日(土)
開場13:00 開始13:30~

開催
場所

ルアンホール
(茅ヶ崎市新栄町10-25)
茅ヶ崎駅北口から徒歩3分



(Google Map)

① 基調講演

13:30-14:50

休憩
10分

② パネルディスカッション

15:00-16:20

休憩
10分

③ 3.11 体験談

16:30-17:50

講演 テーマ
「3.11で起きたこと・わたしたちが学んだこと」

東北大学災害科学国際研究所
佐藤 翔輔 准教授



プロフィール
京大大学院情報学研究所
博士後期課程修了、博士(情報学)
日本学術振興会特別研究員DC2
(京大防災研究所所員)
東北大学大学院工学 研究所 附属災害制御研究センター助教
東北大学災害科学国際研究所助教を経て 2017年よりの現職
専門は、災害情報、災害伝承、防災・減災に関する啓発など
宮城県内の自治体をはじめ、災害メモリアルに関する委員
アドバイザー等をつとめる。

主な受賞歴
令和3年科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞、
地域安全学会 年間優秀論文賞(2018年、2019年)など受賞。

パネルディスカッション テーマ
「被災地の考える防災・未災地の防災の現状」

コーディネータ(進行役)

黒澤 健一 氏(がんばろう!石巻の会)

パネリスト

佐藤 光 氏(茅ヶ崎市)

大内 正治郎 氏(石巻市総務部 危機管理監)

佐藤 翔輔 氏(東北大学災害科学国際研究所准教授)

大須 武則 氏(一社)石巻震災伝承の会(代表理事)

藤田 慧 氏(茅ヶ崎市消防団第16分団部長)

私たちの体験談 (石巻商工会議所青年部企画)
「東日本大震災で経験した私たちの教訓」

大森 盛太郎 氏(株)づくりまんぼう 総務部長)

石巻市にある石ノ森美術館の職員として館内で津波を経験。避難指導・再建に尽力

武山 雄樹 氏(株)グローバルダイニング(代表取締役)

震災後、飲食店再建に奔走しつつ、青年部活動に尽力。地域の為のココロの灯り事業開催

黒澤 健一 氏(株)黒沢配管工業(代表取締役)

震災で住居店舗を流される。津波に負けたくない地域を動かしたい。「がんばろう!石巻」看板を制作

茅ヶ崎市・石巻市の青年によるフリートーク

主催：がんばろう!石巻の会

共催：石巻商工会議所青年部・茅ヶ崎商工会議所青年部・(一社)石巻震災伝承の会

後援：宮城県・茅ヶ崎市・石巻市

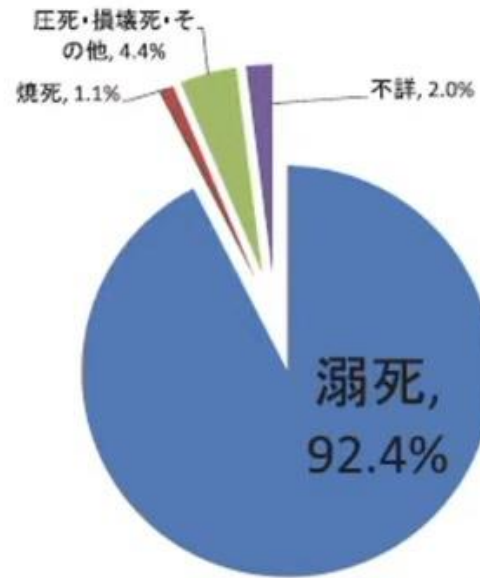
令和4年度 みやぎ震災伝承連携推進事業補助金・石巻商工会議所青年部 令和4年度ココロの灯り委員会事業 の予算により開催します。

未災地と被災地を結ぶ



一般の方がたくさん 参加いただきました。

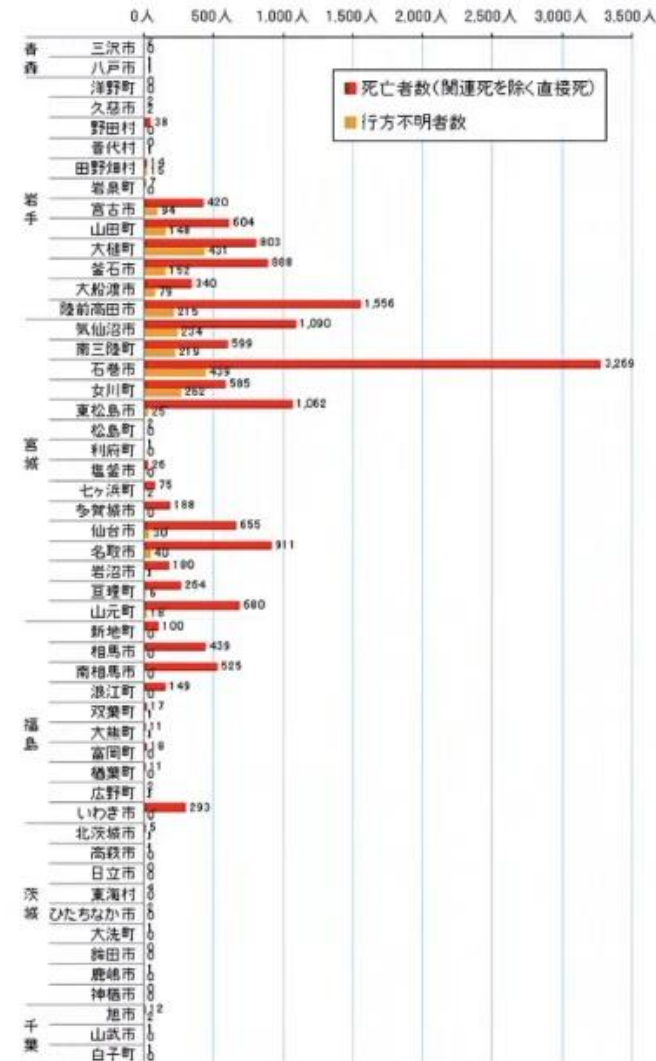
津波による犠牲者



警察庁資料から内閣府作成
(平成23年4月11日現在)



東日本大震災の地域別被災状況(臨海部)



被災前（未災地だった頃）の石巻市雄勝地区中心部

平成20年11月9日（震災前）

石巻市雄勝総合支所駐車場から消防はしご車を伸梯（30m）して撮影



4. 石巻市の動き

- ・ 復興基本計画と震災伝承計画に基づき、事業を推進
- ・ 2016年3月 旧門脇小と旧大川小を震災遺構として整備することを決定
- 【大川小学校】（2018年3月閉校）
- ・ 大川小学校の児童・教職員84名、大川地区全体で418名が犠牲
- ・ 目的：**慰霊・追悼の場とするとともに、
震災被害の事実や
学校における事前防災と避難の重要性を伝えていく**

- ・ 敷地内の大川震災伝承館
震災前後の写真や地域模型、
実物資料を展示する展示室
- ・ 震災伝承活動：
大川伝承の会などが独自の
語り部ガイド実施
若い世代も少数だが取り組み





茅ヶ崎市・石巻市 未災地・被災地シンポジウム





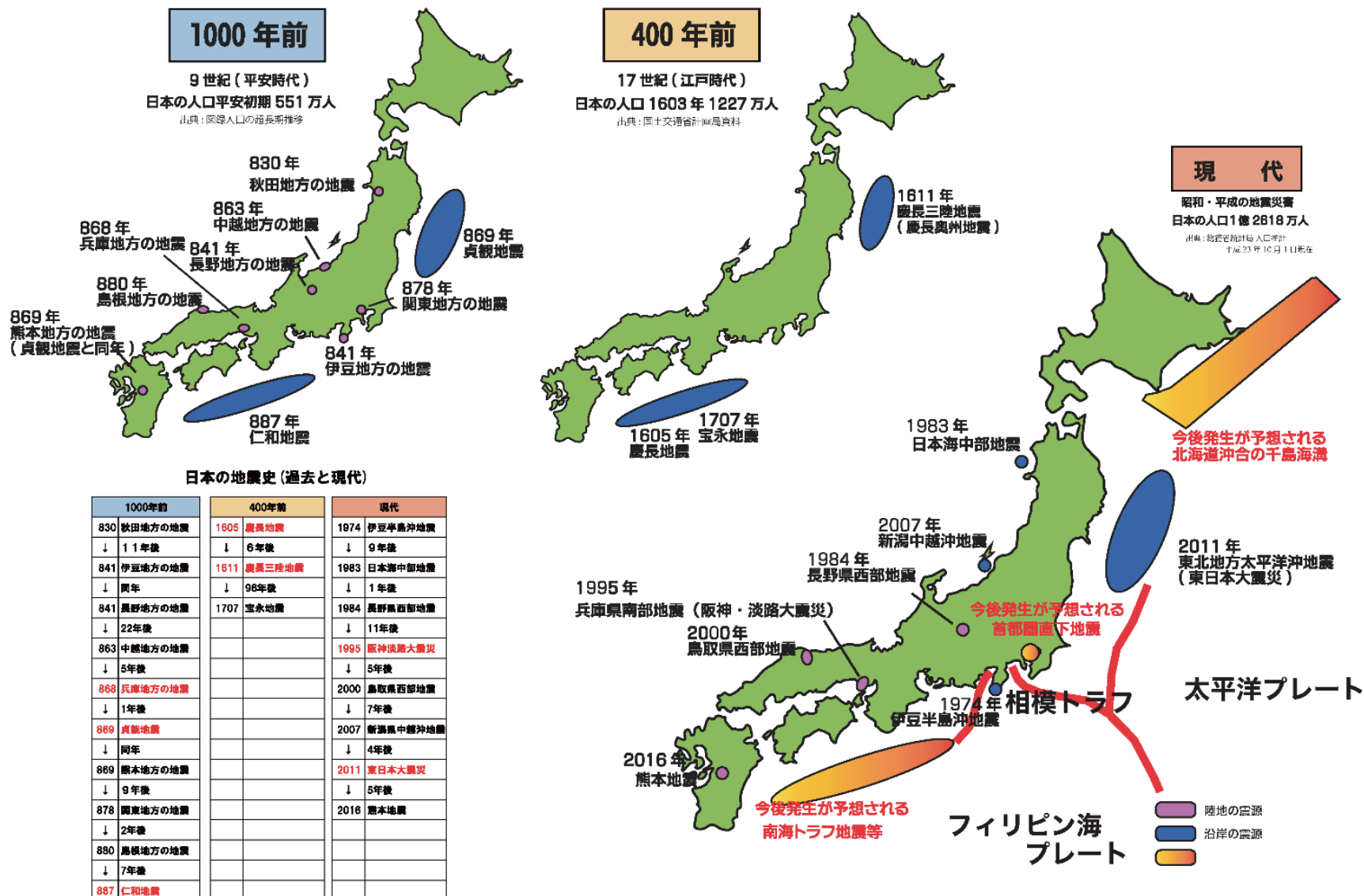
左から初代・3代目のがんばろう!石巻看板製作の様子



茅ヶ崎市・石巻市 未災地・被災地シンポジウム

日本全国で繰り返し起きる巨大地震と津波。 だからこそ、遠隔地連携が大事になります。

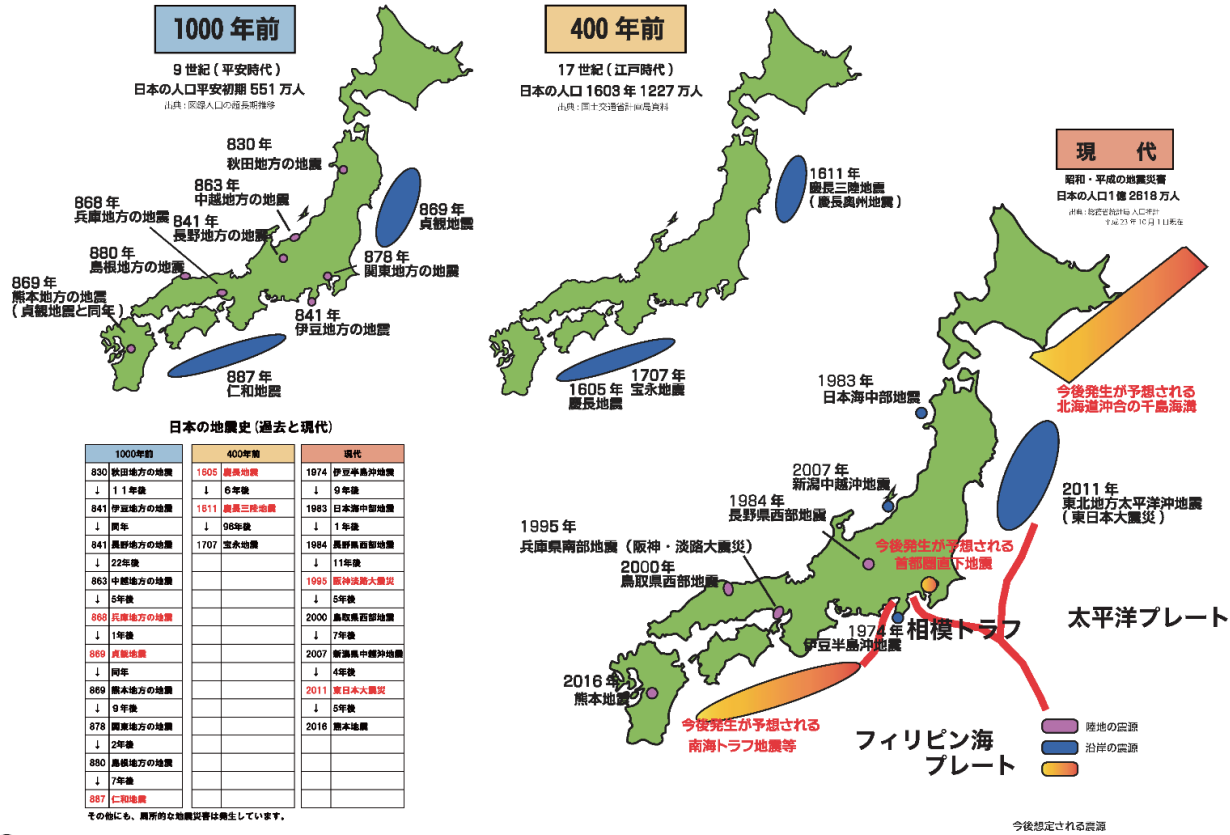
1. 1000年に一度、400年に一度の地震・津波災害



日本全国で繰り返し起きる巨大地震と津波。 だからこそ、遠隔地連携が大事になります。

未災地と被災地を結ぶ

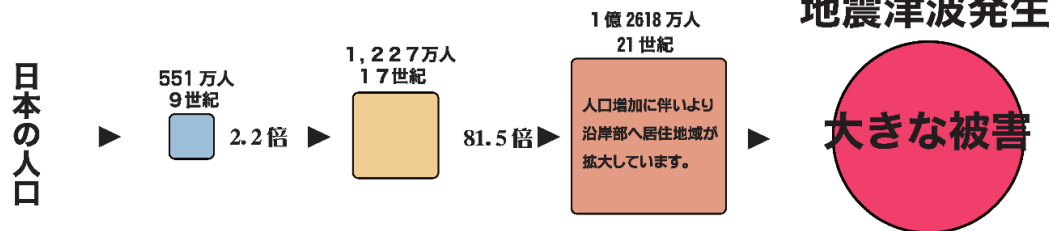
1. 1000年に一度、400年に一度の地震・津波災害



茅ヶ崎
商工会議
所青年部

石巻
商工会議
所青年部

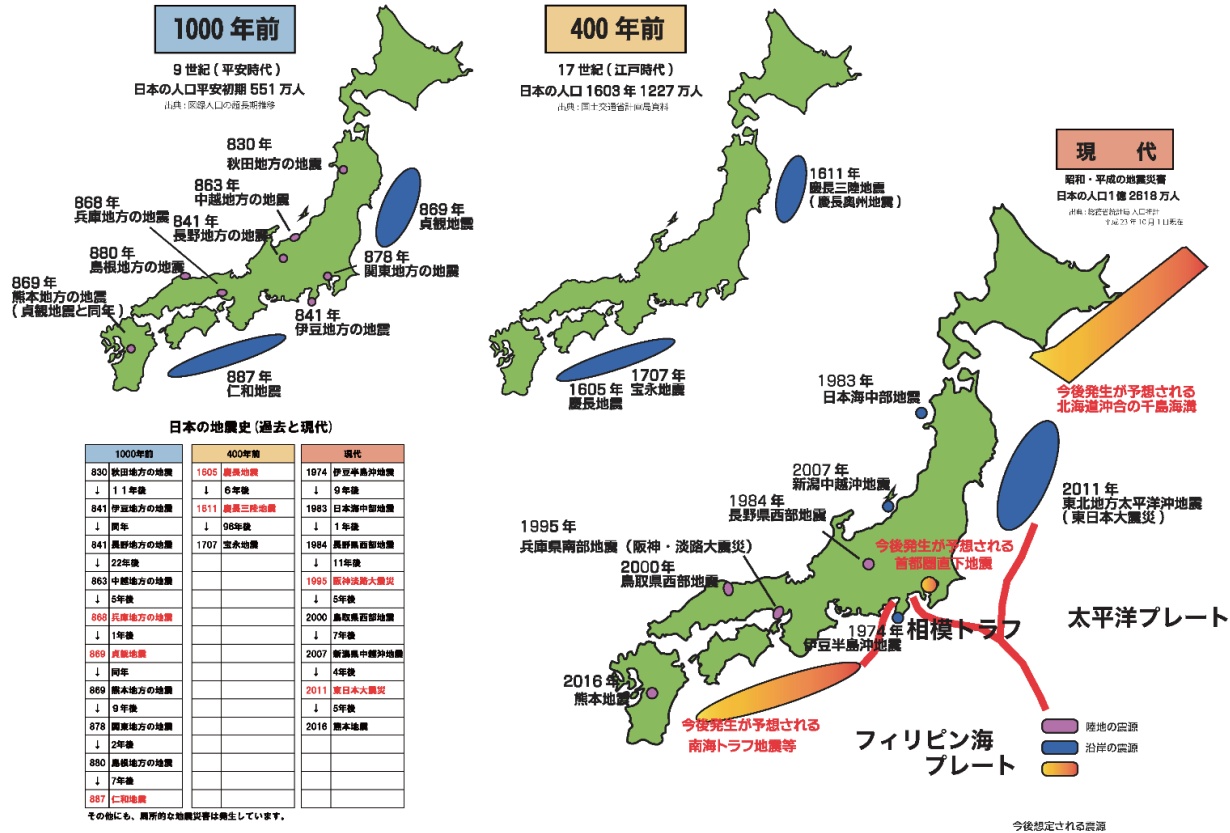
2. 人口増加による居住区域の沿岸部への拡大も被害大きく



日本全国で繰り返し起きる巨大地震と津波。 だからこそ、遠隔地連携が大事になります。

未災地と被災地を結ぶ

1. 1000年に一度、400年に一度の地震・津波災害



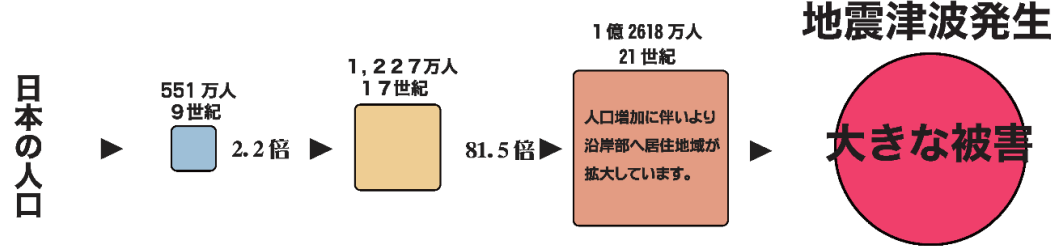
親会

親会

茅ヶ崎
商工会議所
青年部

石巻
商工会議所
青年部

2. 人口増加による居住区域の沿岸部への拡大も被害大きく



未災地と被災地を結ぶ

親会

親会

茅ヶ崎
商工会議
所青年部

石巻
商工会議所
青年部

茅ヶ崎市

石巻市

未災地と被災地を結ぶ

- ・今回、行事を行うことが目的でなく、双方の交流が一番大切にしました。
- ・双方の交流が促進するためには、こちらの本気を示し事前の話し合いがととても大切であることを学びました。
- ・今後とも交流が続く流れが作ることができました。

未災地・被災地交流シンポジウム

えぼし岩は生きてきた。

えぼし岩は
今の形に
しかし、
過去の
過去に

験してきました。
体験していません。
ります。